

信州教師塾B 第2回 コミュニケーション研修会

～生徒・保護者・同僚との良好な関係を構築する～



《 指導者 折山 旭 様 》

11月24日（木）に「信州教師塾B」2回目の研修会が、上伊那教育会館講堂に26名の受講者が集い行われました。今回は「コミュニケーション研修会～生徒・保護者・同僚との良好な関係を構築する～」をテーマに、折山旭様（信州ライフキャリア研究所代表・ライフキャリアカウンセラー）を指導者にお迎えしました。折山様のあたたかな語り口に受講生の表情も自然とやわらかくなり、ペアワークでは会話が弾み笑顔もあふれていました。講義では、まず「今日のゴール」として「講座が終わったときに、どうなっていたら最高か」という自分の目標を決めました。

その後、ステップ1では「いいコミュニケーションの手がかり」についてのお話を聞きました。その中で「自分がされてうれしいことを行う」からさらに1歩進み、「相手が求めていることを行う」ことが大事だと学びました。ステップ2では「相手のためになるいい質問」について考えました。いい質問とは「その人の為になることを目的とする質問」であり、「その人の中にある答えに気づく質問」であることを教えていただきました。そのような質問をするためには「5W1H」を意識しながら質問をしていくことが大事であるということも学びました。ステップ3では「信頼関係を築く3つのきき方」として、「聞く、訊く、聴く」という3つの「きく」を意識し、相手や状況によって使い分けていくことが大事であるということも教えていただきました。最後にそれぞれが研修のはじめに設定した「今日のゴール」を見返し、これからどんな一歩を踏み出すか考えました。受講者からは「学んだことを明日から活かしていきたい」という感想が多く寄せられました。

《 受講者の感想（抜粋）と研修の様子 》

まず、小さなことでも実践することが大事だと学びました。質問をするときに「なんで」と使ってしまうことがあったので、「なんで」ではなく、他の質問5W1Hを意識した質問をしていきたいです。3つのきき方を意識して、明日からのコミュニケーションに活かしていきたいです。

子どもとのコミュニケーションの場面で No answer question をしてしまっていることをまず反省しました。子どもの言葉に耳を傾け、解決してあげるのではなく、一緒に解決する道を探していこうという気持ちで、how を使って質問したいと思いました。

コミュニケーションを取る中で、相手のことを思うことが大切である。そのためにいい質問をすることが大切であるということも学んだ。質問の仕方一つで相手の答え方が変わるということもペアワークを通じて実感することができた。やってみたいこととして、まずは授業の問いかけの際に、今日習ったことを意識したいと思った。



ステップにわかれていて、とても分かりやすい研修会でした。コミュニケーションというと私は話すに目が向きがちでしたが、きき方が大切なんだなと思いました。

相手の求めに応じた質問、コミュニケーションを心がけたい。3つのきき方（聞、訊、聴）を相手や状況により使い分けていきたい。Why・・・なぜ？とはせず、課題があるとすれば何？と訊きたい。



《終わりに》 次回は、12月19日（月）「作文力」をテーマに開催する予定です。今年度最終となる第3回研修会へ、多くの先生方にご参加いただけますようお願い申し上げます。